

渡辺ハウジングOBの皆様と  
未来のお客様にお届けする

# やすらぎ通信

渡辺ハウジング  
03-3959-8743



例年に比べ、開花がかなり早かった桜の花も、私たちの目を楽しませてくれた時をいつしか過ぎ、葉桜の時期になりました。

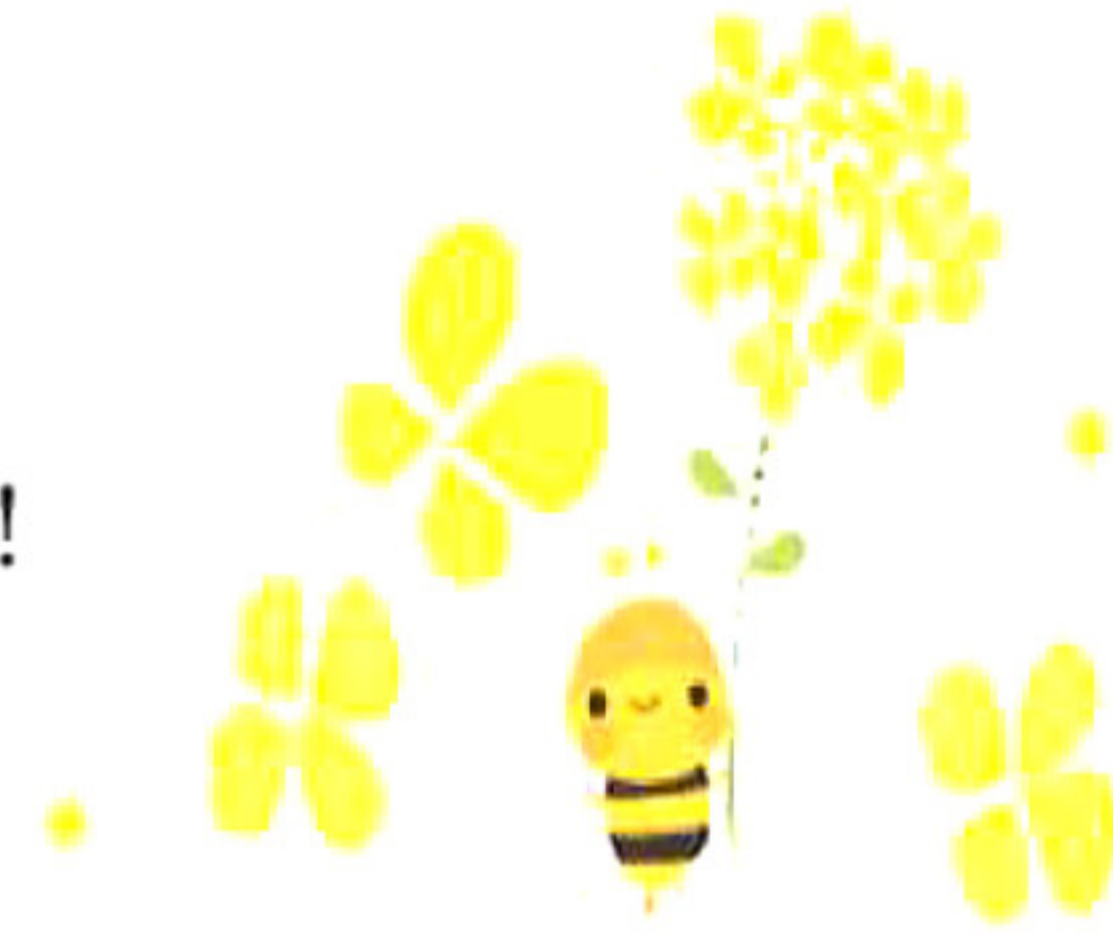
4月「卯月」

学校、会社や官公庁では、新学期・新年度と何かと慌ただしい頃ですが、今月の誕生石「ダイヤモンド」のように美しく輝き、希望に満ちた毎日が送れると良いですね。

素敵な出会いがあるかもしれません。

乞うご期待！・・・です。

寒暖の差に気をつけて、  
お元気でお過ごしください！



前回に続き、家を建てるために必要な材料に関わる業者さんを紹介させていただきます。

今回は、**ホームズマルホ** さん。

埼玉県川口市に本社を構え、建材、キッチンやユニットバスなどの設備機器、外装建材や金物類等などを取り扱う会社です。

私たちの毎日の暮らしに一番密接している、台所や浴室などを、より快適な住空間にするためにはどうしたら良いのか？

お客様の立場に添った提案活動に力を注いでいます。

当社の担当窓口は、東京出身の橋本さんです。



彼のモットーは「温故知新」

過去の事実や知識を研究し、そこから更に新しい道理や見解を得ること。

これは今のお仕事にも通じる大事なことですね。

毎日多忙な橋本さんの元気の源は、もちろんご家族です。

奥様、4人のお子さん、  
そしてお母様の計7人。  
核家族が増えている今、  
なんと羨ましいことでしょう。



賑やかで楽しそうな様子が目に浮かびます。

休日のスキーやドライブ等へも、ご家族一緒にお出掛けになるのでしょうか？

大切なご家族を守るという優しい気持ちは、お施主様への提案にも、きっと結びつくと思います。これからもよろしくお願ひいたします！

## 「母の日」

日頃の母の苦勞をねぎらい、感謝を表す日としてすっかり定着した母の日。

K社が実施した意識調査によると「いつまでも、元気でいて欲しい」と健康を気遣う思いが1番強かったとのことですが、思いは誰も同じですね。

現在では、定番のカーネーションに加え、何か品物を贈る「プラス1」のスタイルで感謝の気持ちを伝えるのが大半を占めているそう。

日本とアメリカは5月第2日曜日ですが、例えば

スペインでは5月第1日曜日、

タイ8月、アルゼンチン10月、

ロシア11月、インドネシア12月、

等等・・・世界様々です。

面白いですね。



## 母さんのお弁当



4月から学校が始まり、給食の代わりに各自お弁当を持って通学する子供たちも多くいることでしょう。給食とお弁当、どちらが良いかは意見が分かれるところですが、皆さんはどちら派ですか？

そこで今回は、お弁当にまつわるチョッピリほろ苦いお話をお届けします。

ある男子学生の思い出。

自分も人並に中学1年生ぐらいの時、反抗期があり、ちょっとツッパってたりした。

そんな頃、「親の作った弁当なんかダサくて食えるか、金よこせよ、コンビニで買うから！」

みたいなことを、母さんに言ったことがあってさ。それからお金をもらって、昼休みに学校を抜け出して近所の店で買い食いするようになったんだ。

大人になってからオヤジから聞いたんだけど、母さんはその時、やっぱり自分にはわからないようにオヤジに愚痴ったらしい、泣きながら。

オヤジはブチギレて、俺をぶっ飛ばそうと思ったらしいんだけど、母さんは

「あの子だって年頃だし、カッコつけたいんだからしょうがないの！」と、逆に俺をかばったらしい。

で、毎日小遣いとは別に、昼食代として千円ずつもらった。

数年後、大学生になってオタク化して、バイト代をすべて趣味につき込むようになった俺は、慢性的金欠。

でも、オヤジからは、

「バイトをしているんだから小遣いは一切やらない！」って言われて・・・

とにかくお金がなくてお金がなくて、激安の学食すらメシが食えない。

そこでしかたなく恐る恐る母さんに頼んだんだ。

「弁当作ってくれないか」って。

反抗期時代、自分が母さんに向かって言ったひどいことなんてコロッと忘れて・・・

そしたら、母さんが泣きながら言ったんだ。

「もう、そんな弁当はダサくて食えないなんて二度と言わないなら作ってあげるわよ、

いくらでも・・・」

俺は、自分が昔言ったことを思い出して愕然とした。あんなひどいことを言っちゃってごめん。

親の愛情がたっぷり詰まったお弁当はうまい。やっぱり最高！！

皆さんにも何か思い出がありますか？

甘かったりしょっぱかったり・・・

いろいろな思いと一緒に詰まっている

お弁当は特別ですね。



### 「編集後記」

通勤途中、新しいランドセルを背負ったピカピカの1年生の姿を見かけます。

得意気に、そして少し恥ずかしそうに・・・

いろいろなことを学び、成長する姿はまぶしいほど輝いて見えます。

勉強だけではなく、友達と楽しい思い出をいっぱい作ってくださいね。

しっかりと地に足のついた、たんぽぽの花のように強く、そして誰からも可愛がられる存在でいてほしい。心からそう願います。 頑張っってね！！

今月もお読みいただき有難うございました。



編集責任者

渡辺 田鶴子